

「負荷心筋パーフュージョン MRI 検査における薬剤負荷効果の
適性評価方法（大動脈測定）の後方視的研究」
についてのお知らせと研究協力をお願い

当院では以下の臨床研究を実施しております。

【研究題目】

負荷心筋パーフュージョン MRI 検査における薬剤負荷効果の適性評価方法（大動脈測定）についての後方視的研究

【対象となる方】

2022 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに土浦協同病院で心臓 MRI 検査を受けた患者様。

【研究の背景、意義、目的】

心臓 MRI 検査において、虚血性心疾患を診断する場合には薬剤負荷による負荷心筋パーフュージョン検査が実施されます。検査の精度を向上するためには、薬剤負荷の効果が重要となります。薬剤負荷の効果には個人差があり、検査中に効果を判定するのは容易ではありません。薬剤負荷効果判定方法がいくつか報告されていますが、これらの手法は造影剤投与後の画像でしか評価できず、撮影前に薬剤負荷の効果を確認することができないという問題点があります。そこで我々は薬剤負荷前後における大動脈の血管断面積ならびに流速、血流量の変化を調べることで造影剤投与前に薬剤負荷効果を判定することが可能ではないかと考えました。したがって、本研究では薬剤負荷前後の大動脈と薬剤負荷効果の関係を明らかにすることで造影剤投与前に薬剤負荷の効果を担保し、検査精度向上を目的とします。

【研究の方法】

通常検査で得られた過去の情報を用いて研究を行います。本研究は過去の臨床記録を参照しますので、検査を受けた方に新たな負担をお願いする事はありません。

【利用する情報】

＜患者背景＞年齢、性別、診断名、画像所見、MRI 検査時の血圧・心拍数・症状

＜画像検査＞MRI 画像で計測した大動脈の血管断面積、平均流速、血流量

【研究期間】

土浦協同病院倫理審査委員会承認後から 2025 年 9 月 30 日まで。

(2022 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに検査を受けた患者様のデータを使用させていただきたいと考えております。学会発表、論文発表は 2025 年 10 月を考えております。)

【予想される利益、不利益について】

心臓 MRI 検査において、造影剤投与前に薬剤負荷の効果を判定し、検査精度向上に寄与することができます。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は通常診療で得られた過去の情報を利用して行うため、それぞれの患者様から個別に同意をいただくことはありません。この掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施いたします。本研究への参加は患者様の自由意思であり参加されない場合でも不利益は生じません。参加の撤回をご希望される場合は下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報については厳重に管理し、学会や論文発表で使用する際には個人が特定されない形で使用します。本研究の目的以外に研究で得られた対象者の情報は使用しません。

【利益相反について】

本研究については特定企業との利害関係はありません。

【連絡先】

総合病院土浦協同病院 放射線部 診療放射線技師主幹 山本将平

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野 4 丁目 1-1

電話：029-830-3711（代表）